



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた
「日本伝道の推進を祈る日」です

共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを
2教区（東京は支区）ずつ紹介します。
全国の教区・教会・伝道所を覚えて
祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

日本基督教団伝道推進 基本方針

- 祈禱運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436

祈りの課題

中部教区

- 中高生・青年がキリストの福音に導かれるように。
- コロナの影響を受けて困難を覚える諸教会・伝道所を覚えて。
- 過疎化が進む地域の伝道を覚えて。

郵便振替00830-7-52037

「日本基督教団中部教区」

東海教区

- 教会・牧師館の移転先が決まり、新しい地でも、伝道に励み、地域に開かれた教会を目指しておられる喬木教会のために。

東海教区

東海教区では、若者宣教の一環として年に1度、青年・中高生修養会を開催しています。以前は青年のみの会でしたが、2018年より中高生も合同しています。

今年は7月16日、17日に、教区と連動した主題「神の恵みの選びに応える教会」で、本城仰太牧師（中渋谷教会）を講師として開催しました。場所は例年、教区内にある清里の清泉寮、御殿場のYMCA東山荘を使用しており、今年は清泉寮で行いました。

プログラムは若者向けになるよう意識して組んでいます。開会礼拝の後、互いに打ち解けやすくなるようアイスブレイクから始め、ワークショップも用いた賛美、そして講演と続きます。講演は一方通行とまらないように、グループトークを行い、終わりには感想文を記します。

感想文は写真などと共に「青年ジャーナル」としてまとめられ、各教会にフィードバックされます。参加人数は例年30名前後、教師・委員を除く若者たちは10名前後です。続けて参加する者も多くいます。

このことから若者のための貴重な会としての意義を感じています。だからこそ、

中部教区

中部教区では、中高生を対象としたバイブルキャンプ（通称ユビ中部）を、2017年度から2022年度までに5回行いました。この集会を始めることになったきっかけは、2014年度と2015年度の2回にわたり、教区教師研修会の講師として迎えた大嶋重徳先生（前キリスト者学生会全国総主事）の講演です。若者への伝道をテーマとした講演を聞いた若手の牧師たちが学んだことを実践しようと実行委員会が設けられ、準備を重ねました。

そして2018年3月、大嶋先生を講師に迎え、第1回が石川県小松市にて2泊3



7月16日、17日、清泉寮での
青年・中高生修養会

こなすだけの会となってしまうよう、よりよい会とするための工夫を継続的に行っていく必要があります。若者が参加したくなる場所の選定。アピールする宣伝方法。プログラム内容の刷新。また、宿泊費の高騰で費用面の工夫も必要です。教区教会全体の協力による修養会が、若者の信仰の成長や信仰告白・洗礼の後押しとなり、教会に仕える働きであるように願っています。

他に教区ではCS教師研修会も開催しています。CSから青年へ、青年からCS教師へ、その中で育てられた青年たちが修養会の中心となっていく。そのようなサイクルが形づくられていくことを願っています。

（東海教区青年専門委員長 川崎一路）

日で行われました。初めはぎこちなかった中高生たちも、寝食を共にし、聖書の御言葉を共に聞き、語り合い、賛美し、思いっきり遊ぶことを通して、次第に打ち解けていきました。また、個性的な教師スタッフも立場の違いを超えて共に祈り、賜物を惜しみなく出し、一人一人の中高生と向き合っ

て福音を伝えました。このキャンプがきっかけとなって、洗礼や信仰告白の決意を与えられた中高生も少なくありません。うれしいことに、大学生になってスタッフとして参加してくれる若い青年もいます。

新型コロナウイルス感染拡大により、1回の中止と2回のオンライン開催を経て、2022年度は4年ぶりに対面で行われ、大いに盛り上がりしました。第6回は、2024年3月25日から27日に、青山学院大学の塩谷直也先生を講師に迎え、石川県小松市にて行われます。

このバイブル・キャンプが、これからも末長く続き、中高生に福音が届けられ、主イエスと共に生きる喜びが与えられますように祈りください。

（中部教区バイブルキャンプ実行委員会委員長 松島保真）



2022年度バイブルキャンプで